

第二次宇部市再犯防止推進計画（素案）のパブリックコメントの実施結果について

1 実施概要

- （１）意見募集期間：令和７年１月８日（水曜日）から令和７年２月７日（金曜日）まで
- （２）意見提出者：６人
- （３）意見件数：１１件

2 素案に対するご意見と対応

項 目	件 数	対 応 区 分			
		①意見を踏まえて 反映するもの	②意見の趣旨や内 容について既に記 載済みのもの	③実施に向け検 討、実施の際に参 考とするもの	④その他
計画全体に関すること	１件	０件	０件	１件	０件
１ 計画の策定にあたって	１件	０件	０件	１件	０件
２ 市の取組事項	７件	０件	２件	５件	０件
取組全般	（１件）			（１件）	
１ 就労・住居の確保	（２件）		（１件）	（１件）	
２ 保健医療・福祉的支援	（０件）				
３ 非行の防止と修学支援	（１件）		（１件）		
４ 関係機関・団体等との連携強化	（２件）			（２件）	
５ 広報・啓発活動の推進	（１件）			（１件）	
３ 成果指標	２件			２件	
合 計	１１件	０件	２件	９件	０件

◇ 素案に対するご意見と対応

番号	ページ	意見の概要	意見に対する市の対応	区分
計画全体に関すること				
1	－	再犯防止には、以下のことが必要と思う。 ・ 受刑者への教育、職業訓練 ・ メンタルヘルス、薬物依存者の治療 ・ 社会復帰支援 ・ 出所者の偏見や差別を減らすための啓発 ・ 家族との連携 多角的なアプローチで再犯が減少するよう、引き続き計画を進めてもらいたい。	再犯防止には、国・地方公共団体・民間協力者等による支援連携体制の強化が重要と考えています。それぞれの役割を踏まえつつ、相互に連携しながら、取組を推進してまいります。	③
1 計画の策定にあたって				
2	3	昨今、「トクリュウ」による犯罪が話題となっており、SNS やネットを使った犯罪を行う、又は巻き込まれる機会も多くなるであろうから、再犯防止の取組の中でもネットリテラシー教育を推進する必要があると考える。	SNS 等を通じた犯罪において、特に児童生徒が犯罪に巻き込まれないための指導は重要と考えています。各学校においてはネットリテラシーに関する教育が行われているところであり、関係機関とも連携して、特殊詐欺や「匿名・流動型犯罪グループ」等の新たな犯罪に若年層が巻き込まれないための学びの場を設けます。	③
2 市の取組事項				
取組全般				
3	6	最近、AI が話題となっている。犯罪を犯した人も、AI を活用し自らの生き方を考えられるよう AI について理解を深める機会を提供してはどうか。周りの支援も必要だが、社会や時代に取り残されないためにも本人の意識を共生に向けていくことも大事では。	人工知能は様々な分野での活用が期待されており、将来的には困難を抱える人の生活改善にも役立つ可能性があると考えられますので、今後の情報技術の進化に注視してまいります。	③

1 就労・住居の確保				
4	8	高齢者の就労支援について、「シルバー人材センターと連携し」とあるが、シルバー人材センターの配分金(報酬)だけで、生計を維持することは難しいと思われる。結果、刑務所の方が生活が安定するということがないように支援してもらいたい。	再犯者の自立に向けた取組については、シルバー人材センターを通じた就業のみならず、複合的な取組に努める必要があると考えております。	③
5	〃	少年等の就労、修学支援、とくに進路の決定について進学(復学)、就職の選択は大きな問題となると考える。就労支援、修学支援をつなぐ役割を明確にして、支援につなげていただきたい。	就労を希望する少年に対しても、ハローワーク等関係機関・団体との連携により、就職に向けた支援の充実を図ります。	②
2 保健医療・福祉的支援				
-	-	-	-	-
3 非行の防止と修学支援				
6	14~15	少年等の就労、修学支援、とくに進路の決定について進学(復学)、就職の選択は大きな問題となると考える。就労支援、修学支援をつなぐ役割を明確にして、支援につなげていただきたい。(再掲)	非行の未然防止に取り組むとともに、学校をはじめとした関係機関・団体と連携し、悩みを抱える児童生徒への支援を通じて学習意欲の向上に努めます。	②
4 関係機関・団体等との連携強化				
7	16~20	推進体制として充実した内容になっていると思う。	関係機関・団体との協働に努めてまいります。	③
8	〃	デジタル社会、情報化の流れと社会環境の変化の著しい中で、柔軟性、即応性のあるものになるよう期待する。	本計画は、社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直してまいります。	③
5 広報・啓発活動の推進				
9	21	学生が利用する駅では自転車の盗難が発生している。小さな犯罪が大きな犯罪につながらないよう学生への啓発活動の必要性を感じる。	近年、窃盗犯は増加傾向にあります。様々な機会を通じて犯罪防止に関する理解の促進に向け、わかりやすい広報、啓発に努めてまいります。	③

3 成果指標

10	22	再犯防止推進計画を知っている市民の割合を 50%以上とした理由と目標達成のために必要なことを示されたい。	再犯防止の取組を進める上で、多くの市民の皆様に計画を認知していただく必要があると考え、半数以上に設定しました。また、この計画は関係団体に広く周知するとともに、様々な機会を通じて PR をしてまいります。	③
11	22	細部にわたり、よく作りこまれていると思う。 目標達成に向け、積極的な取組を期待する。	再犯防止に係る取組の確実な実施と必要に応じた見直しを通じて、目標が達成できるよう努めてまいります。	③